

みせん

瀬戸内海国立公園
宮島地区パーク
ボランティアの会

第72号

発行日
平成30年6月1日

◇ 目 次 ◇

- | | |
|---|---|
| P2 定期総会 | P11 入浜池補足調査① |
| P3 平成29年度PV活動記録 | P12 小なきり植物観察・海岸清掃 |
| P4 山崎保護官着任挨拶・
川原AR離任挨拶・新入会員紹介 | P13 多々良～青海苔清掃登山 |
| P6 入浜池定点観察④・維持管理作業④ | P14 公募観察会下見(春の新緑と歴史の宮島)
投稿記事：ニューリーダー研修会
投稿記事：鳥の種名の並び方 |
| P7 鷹ノ巣高砲台跡整備清掃作業 | P15 お知らせ：国立公園めぐり絵画展
編集後記 |
| P8 公募観察会下見
公募観察会(広大植物園路～室浜)
アンケート結果 | P16 行事参加者一覧・行事予定 |
| P10 ミヤジマトンボ新生息地創出整備事業 | |



4月7日総会

桜の開花が例年より早まり、場所を変えて記念撮影
(写真：中道 勉)

平成 30 年度 宮島地区パークボランティアの会総会

日 時：4 月 7 日(土)9：20～12：15

場 所：宮島町杉之浦市民センター

出席者：麻生 猪谷 今田 岩崎 大西 大林 小方ペア 小川 奥田 恩田 金山 川上 川崎 北野
黒木 五石 河野 小林ペア 佐渡 佐藤 島 嶋谷 末原 田中 田内 中道 檜和田 二神 穂井田
前田 舩田 三戸 村上 森 山本(昌) 横路 吉崎 呼坂 以上 40 名(委任状提出者を除く)

環境省：大高下 AR

1. 開会(司会 岩崎副会長)

開会前に会場玄関横にて全会員の集合写真を撮影した。開会に先立ち 1 月 27 日ご逝去された足立会員と 2 月 26 日にご逝去された柳瀬会員のご冥福を祈り黙祷を捧げた。

9 時 40 分に開会。

配布資料の確認のあと、出席者全員が自己紹介を行った。

2. 開会あいさつ

・環境省 大高下 AR 挨拶

4 月より産休明け復職した。自然を守ることと子供を育てることは通じるところがあると思った。新会員は PV で何をやりたいか考え、実現していただきたい。

・村上会長挨拶

昨年度は体調をこわし「他人事が突然我が家の戸を叩く」を実感した。我々の活動は多くの人が注目しているのでコンプライアンス(規則の順守)に気を付けよう。入浜の整備と活用法を考えて行こう。行事推進員は何をすべきか考えよう。

3. 15 年間活動感謝状贈呈

環境省より小方会員ご夫妻と舩田会員に 15 年間活動の感謝状が贈呈された。

4. 総会の成立確認

出席者 40 名、委任状提出者 9 名、合計 49 名で全会員数 49 名の半数以上であり総会成立を確認。

5. 議事(議長 村上会長)

次の 5 議案につき会長、各部会長、会計から説明・報告があり、異議なく承認された。

議案 1. 監査員の選出・承認について

足立会員ご逝去にともない監査員は、幹事会の承認を得て、島会員が代行した。

平成 30 年度は森会員が就任する。

議案 2. 平成 29 年度活動報告について

議案 3. 平成 29 年度決算(案)について

議案 4. 平成 30 年度活動計画(案)について

議案 5. 平成 30 年度予算(案)について

6. その他の審議事項

会員名簿の配布について個人情報保護の観点から種々の意見が出されたが、今後は以下のとおり運用することになった。

・全会員に配布する名簿には役員(会長、部会長)および編集長のみ連絡先(詳細住所、電話番号、メールアドレス)を記載する。

・全会員の連絡先は環境省が管理し、必要な場合は環境省に照会する。

7. 総会終了

会員登録証の更新・交付があり 12 時 15 分終了した。



(文：川崎 昭壽、写真：麻生)

H29年度 PV活動記録 (平成29年4月～30年3月)

	開催日	行 事	場 所	参加会員	備 考
会 合	4/8(土)	平成28年度定期総会	杉之浦市民センター	37	
	12/2(土)	会員の集い	宮島西連集会所	27	新入会員研修生3名
観 察 部 会	5/13(土)	公募観察会① 自然・歴史	要害山～紅葉谷～大元	15	公募参加者24名
	7/22(土)	公募観察会② 自然	鳥居周辺干潟	8	公募参加者5名
	3/24(土)	公募観察会③ 自然・歴史	広大植物園路～室浜	23	公募参加者22名
	4/8(土)	自主観察会①	小なきり周辺	21	植物・生物調査、総会後
	5/6(土)	自主観察会②	要害山～紅葉谷～大元	12	兼公募観察会①下見
	6/3(土)	自主観察会③	広島市鈴が峰	19	島外調査
	7/20(木)	自主観察会④	鳥居周辺干潟	9	兼公募観察会②下見
	H30/1/6(土)	自主観察会⑥新春弥山登山	弥山	20	新入会員研修生8名
	H30/2/3(土)	自主観察会⑦野鳥観察	地御前	21	新入会員研修生7名
	H30/3/17(土)	自主観察会⑧	広大植物園路～室浜	12	兼公募観察会③の下見
	4/8(土)	入浜池補足調査①	入浜池周辺	12	総会後
	5/20(土)	入浜池補足調査②	入浜池周辺	9	
	8/19(土)	入浜池補足調査③	入浜池周辺	4	
	10/14(土)	入浜池補足調査④	入浜池周辺	7	
	6/24(土)	入浜池定点観察①	入浜池周辺	9	
	7/29(土)	入浜池定点観察②	入浜池周辺	16	
	H30/2/24(土)	入浜池定点観察④	入浜池周辺	14	新入会員研修生4名
環 境 整 備 部 会	4/8(土)	宮島市街地周辺美化清掃	小なきり浜	21	総会後
	4/22(土)	多々良～青海苔清掃登山	多々良～青海苔～大砂利	11	
	6/10(土)	ミヤジマトンボ生息地清掃	宮島西南部	13	
	7/16(日)	包ヶ浦海岸清掃活動	包ヶ浦	18	瀬戸内海環境保全協力
	8/5(土)	自然公園クリーンデー清掃活動	宮島海浜	14	環境省、廿日市市
	8/6(月)	厳島神社前海浜清掃活動	厳島神社前海浜	12	
	10/26(木)	紅葉谷公園歩道補修・清掃活動	紅葉谷公園	17	新入会員研修生8名
	11/4(土)	樹木名板維持管理活動(うぐいす・もみじ・あせび各歩道)		19	新入会員研修生7名
	12/15(金)	弥山登山道補修及び清掃活動(獅子岩駅～弥山～大聖院)		16	新入会員研修生2名
	H30/3/10(土)	鷹ノ巣高砲台跡の整備清掃活動	鷹ノ巣高砲台跡	16	新入会員研修生3名
	6/24(土)	入浜池維持管理作業①	入浜池	9	
	7/29(土)	入浜池維持管理作業②	入浜池	16	
	H30/2/24(土)	入浜池維持管理作業④	入浜池	14	新入会員研修生4名
そ の 他	9/2(土)	宮島PV研修会 救急救命講習会	宮島市民センター	20	宮島消防署
	10/28(土)	PV会員交流会	山口県角島	22	日帰り
	11/11(土)	宮島PV研修会(環境省主催) 「宮島の地質と地形」 講師：広大名誉教授 於保幸正様	宮島市民センター	26	新入会員研修生4名
	12/2(土)	宮島PV自主研修会「自然と環境よ もやま話」講師：小方(嗣)会員	宮島西連集会所	27	「会員の集い」の後、 新入会員研修生3名
	H30/3/28(水)	ミヤジマトンボ新生息地創出整備作業	宮島南部	8	

注： 行事名の付番の欠番は雨天等で中止した行事

山崎自然保護官着任挨拶：

山崎貴之さんプロフィール

○出身地：福島県

○経歴：

大学時代は沖縄でマングローブに棲むカニの研究をしていました。平成 16 年 4 月に環境省入省。本省→屋久島自然保護官事務所→土佐清水自然保護官事務所→浦富自然保護官事務所→本省→内閣府を経て、平成 30 年 4 月より広島事務所。

○趣味：読書（ダイビングや登山もしたいのですが、休日は子供が中心です。）

○ひとこと：

初めまして、山崎です。私は 3 月まで、4 年間東京におりましたので、久しぶりの現地となります。広島赴任に当たり、東京から車を運転して来たのですが、山の木々の新緑風景がだんだんと淡い色合いになるのが印象的で、西日本にやってきたことを実感しました。私はこれまで西日本の海に近い現場が多かったのですが、広島はとても都会で、中でも宮島は多くの利用者が海外からも訪れているので、これまでの現場とはまた違った雰囲気だぞ、と感じております。多くの人々を魅了している宮島で、これまでの人の営みや豊かな自然を、見て・聞いて・伝え続けてこられたパークボランティアの方々と一緒に、その活動に参加できることを楽しみにしております。宜しくお願い致します。



くさんありましたが、皆さんの暖かさに支えられて、無事に任期を終えることができました。心より感謝申し上げますと同時に、陰ながらではありますが、これからも皆様のご活躍をお祈りしております。



左～3 人目：川原 AR、4 人目：関自然保護官

新入会員の紹介

下記について答えていただきました。

- ① 現在住んでいる所、血液型
- ② 出身地、今までに長く住んだ所
- ③ PVに応募した動機
- ④ 他にボランティア活動していますか？
- ⑤ 趣味、特技など
- ⑥ 今までに登った一番高い山は？
- ⑦ 最近何か感動したことがありますか？
- ⑧ 最近憤慨していることがあれば
- ⑨ 好きな言葉
- ⑩ の他自己 PR などなんでも

会員 03 今田 賢二 環境整備部会

- ① 広島市安佐北区落合南 O 型
- ② 広島市安佐南区川内
- ③ ボランティアを通して自分の成長
- ④ 西区やまなみの会
- ⑤ 山登り、燻製作り
- ⑥ 白木山（889.3m）

1 日で八幡東～鈴ヶ峰～鬼ヶ城山～見越山～大茶臼山～丸山～火山～武田山～大町下山。

- ⑦ 広島東洋カープ 2 連覇
- ⑧ 職業柄ここで語れない事多数
- ⑨ 百万一心



川原 AR 離任挨拶：

私が初めて宮島地区パークボランティアの活動に参加させていただいたのは、平成 29 年 4 月 8 日の総会と入浜池補足調査でした。右も左も分からなかった私に、皆さんが親切に接して下さったことは、今でも鮮明に覚えています。それからの 1 年間、宮島の自然や歴史、ボランティアの事など、たくさんのことを学ばせていただきました。多々至らぬ点があり、ご迷惑をお掛けしてしまったこともた

⑩ 体力だけは、自身がありますのでなんなりと申し付けください。

会員 13 川上洋子 環境整備部会

- ① 広島市佐伯区 0 型
- ② 広島市
- ③ 社会貢献する機会がほしく
- ④ していません
- ⑤ 木彫り
- ⑥ 富士山
- ⑦ 三江線沿線の地元の
方々の温かい人柄
- ⑧ 満員電車のマナー
- ⑨ 晴耕雨読
- ⑩ 飽きっぽい性格ですが
長続きできるよう頑張ります。



会員 18 河野進(こうのすすむ) 環境整備部会

- ① 廿日市市宮園 0 型
- ② 愛媛県→北九州市→広島市→廿日市市
- ③ 退職したので、地域社会
への恩返しと健康保持
- ④ 町内会長
- ⑤ 大菊作り 家庭菜園
登山 旅行
- ⑥ 石鎚山
- ⑦ この冬、4kg を超える
白菜を多数収穫できたこと
- ⑧ 思いやりのある、やさしい社会がさらに遠
のいていくこと
- ⑨ 晴耕雨読、スローライフ
- ⑩ 宮島の自然を100年後に残すため、
なにか役に立ちたい。



会員 24 嶋谷加奈子 環境整備部会

- ① 廿日市市地御前 B 型
- ② 広島市～廿日市市～島根県
松江市～廿日市市
- ③ 何か地域貢献活動をしたい
と思っていた時に、職場の大
先輩の末原さんから声をかけ
ていただきました。
- ④ 特になし
- ⑤ 山登り、読書、サッカー観戦
- ⑥ 富士山（一番好きな山は、燕岳。夢はキリ
マンジャロに登ることです！）
- ⑦ お正月に行ったディズニーシーが楽しくて



感動しました！

- ⑧ 読みたかった漫画の新刊が発売日から2日
後にならないと広島の本屋に入荷されなかつ
たこと。
- ⑨ 今日よりもっと、今よりずっと、明日はい
い日になるよ
- ⑩ 宮島のことをたくさん知りたいので、色々
教えてください！

会員 27 田内邦明(たのうち) 環境整備部会

- ① 広島市中区十日市町 B 型
- ② 高知市～広島市
- ③ 悲愴的な勧誘と、少しでも
社会貢献したいという希望
- ④ なし
- ⑤ 読書と里山登山
- ⑥ 久住山
- ⑦ わが子が全ての旧軍人に
対し、排斥や非難でなく哀悼
の心を持っていると知った時
- ⑧ 子供じみた国会の審議委員会
- ⑨ 凜として生きる。



徳も濁れば毒となる。←宮島のある寺院の
掲示板に掲載
⑩ 最近急に体力減退感があるも、皆さんに迷
惑をかけることなく、頑張っについていきた
いと思います。

会員 33 二神朋子(ふたがみ ともこ) 広報部会

- ① 広島市西区
- ② 広島にずっと住んでいます
- ③ 弥山登山でお世話になって
いる宮島に、恩返しをしたい
また来島者に、安全に宮島を
楽しんでほしい。
- ④ なし
- ⑤ 登山、読書
- ⑥ 白馬岳
- ⑦ 冬季オリンピックでの国を超えた選手の
交流
- ⑧ 相撲の土俵のこと、セクハラなど、まだ
まだ女性にはしんどい社会かしら・・・
- ⑨ 実るほどこうべを垂れる稲穂かな
- ⑩ 休みが合わず欠席が多くなりますが、が
んばります！



会員 34 穂井田敏哉 観察部会

- ① 広島市中区舟入南
- ② 出身地広島市 兵庫、山口、広島、東京、埼玉、千葉各都県を転々。

最長は広島県内トータル
27年、内広島市トータル
13年



- ③ 小さい頃から宮島にはよく連れてきてもらい、私にとって広島と言えば宮島。退職後ボランティア活動に興味があったところ宮島でボランティア活動しながら野鳥観察出来ると友人に誘われた。
- ④ していない
- ⑤ 野鳥観察
- ⑥ 奥穂高 3,190m
- ⑦ ベトナム旅行で感じた日本人が失ってしまった人々の活気
- ⑧ ハラスメントの意味を理解していない政治家・官僚
- ⑨ 一期一会。野鳥との出会いがまさにこれ。
- ⑩ 会員皆さんそれぞれの活動に頑張っているのだから負けずに励みたい。

会員 40 三戸久治 環境整備部会

- ① 広島市中区昭和町 A型
- ② 広島市
- ③ 長年親しんできた宮島に清掃活動等で恩返ししたい
- ④ 広島市スポーツイベントボランティア
- ⑤ 登山・旅行・歴史(時代)小説
- ⑥ 富士山
- ⑦ 大リーガー大谷選手の二刀流での活躍
- ⑧ 官僚の国会答弁のあり方
- ⑨ 自然体
- ⑩ 退職後約7年間毎月2回宮島弥山登山してきましたが、宮島の歴史を知りもっと自然に親しみたい。

**会員 43 元広修爾 観察部会**

- ① 広島市内です。
- ② 子供時代は大阪で過ごしました。
- ③ 仕事で環境保全に関わる中で、宮島の環境保全のお手伝いを少しでもできたらと考えま

した。

④地域活動の行事に参加しております。

⑤ 大学院で環境保全をテーマとして研究活動をしております。...

⑥ 弥山です。

⑦ 近所に燕が巣を作ったこと。

⑧ 身近な自然が失われつつあることです。

⑨ 協働

⑩ 宮島 PV の先輩方に、宮島の自然や文化について学ばせていただきたいと思いますので、ご指導くださいますようお願いいたします。

**入浜定点観察④****及び維持管理作業④**

日 時:平成30年2月24日(土) 9:30~12:00

天 候:晴れ 行事推進員:小川 横路

参加者:麻生 大西 小川 川崎 小林ペア 末原
前田 増田 村上 森 山崎 横路 吉崎 14名
新入会員研修生 4名

環境省 川原 AR

入浜定点観測④ 【環境整備】末原会員

水路は、雨が降らないので水は流れていません。ゴミ収集作業は、海岸と池の周りで17袋の85kgを収集しました。

維持管理作業④ 【植物】山崎会員

今日のハイライトはムクロジの実がたくさん実っていた。冬だからこそ見られる光景です。ムクロジの木は宮島には数本しかありませんがその1本が入浜にあるので観察するには良い所です。花が咲いているのはヤブツバキです。蜜を多く含むのでたくさんの生命を宿すことができます。花芽がたくさん蕾をつけていました。冬芽というのは葉芽と花芽があり花芽がついていたのはタイミンタチバナ、ヒサカキです。今からどんどん花が咲き、花が咲くことによってたくさんの生き物が進化

していきます。恐竜時代はほとんどが草食だったので植物は生きることができず針葉樹とかコケ類とかいうものしか生き残れず植物は住み場所がなかった。恐竜が絶えてから一気に花が咲き実ができ、進化していきそのことによって生き物が発達して鳥や昆虫が増えてきました。花が咲くということは非常に大事なことです。

【野鳥】大西会員

楽しみにしていた2月の入浜観察。なぜなら昨年と同観察の際ミソサザイに出会っていたからだ。ひょっとして、今年も来てくれるのではないかと、大いに期待していたのです。

あの片隅に立つと、地鳴きをしながら移動しているのが分かった。ただただ静かに方向を探る。ひととき小さな地味な小鳥が忙しく動きながら姿を現しました。嬉しい！今年も来てくれた。入浜ではちょっと特殊な場所。お気に入りらしい。しばし、見惚れていた。確認できた野鳥は次のとおりです。



種 名	数	種 名	数
カルガモ	2	シジュウカラ	3
カンムリカイツブリ	2	ヒヨドリ	7
カワウ	5	ウグイス	2
アオサギ	1	エナガ	2
ダイサギ（飛翔）	1	メジロ	7
セグロカモメ	1	ミソサザイ	1
ミサゴ（囀り）	5	シロハラ	4
トビ	10	ツグミ	1
ハイタカ属	1	ショウビタキ	♂2 ♀1
ハシボソガラス	2	アオジ	♂1
ヤマガラ	2	計	21 種



（ダイサギの足跡？）



（カモメの足跡？）

【水質】小林(嗣)会員

ここ何日か雨が降っていないので水が少なくなっています。6ヶ所が観測不能でした。A地点は水温が6.6℃、PH7、塩分濃度0.48%、COD8。B地点は水温6.6℃、PH6.8、塩分濃度0.52、COD8。山水は水温4.5℃、PH7.5、COD3。海水は水温9.1℃、PH7.3、塩分濃度2.8%。去年のデーターを見ると今回とほぼ同じです。水が少ないのでイノシシのヌタ場が多く見られました。

【昆虫など】小川会員

ヒトモトススキにオツネントンボがいなか探しましたが、見つけれませんでした。当日は気温が低く出てこなかったのかもしれませんが。テントウムシが2匹いました。池の水が少ないので鳥の足跡があちらこちらで見られました。収集ごみから冬眠中のカナヘビが1匹見つかりました。未だ鈍い動きでした。（まとめ 小林(嗣)）

鷹ノ巣高砲台跡の整備清掃作業

日 時：3月10日(土) 9:00～13:00

天 候：快晴 行事推進員：兎谷 森

参加者：岩崎 大西 小方(嗣) 小川 金山 川崎 黒木 小林ペア 島 末原 兎谷 前田 村上 森 吉崎 以上16名、新入会員研修生3名
環境省 川原 AR

春を感じさせる好天の中、会員 16 名と研修生 3 名で鷹ノ巣高砲台跡の清掃・整備を行いました。研修生は村上会長の案内で砲台跡全体を見学して回りました。清掃・整備は 1 年ぶり、積もった落ち葉は殊のほか多く、自然の力強さを感じつつ、体力のいる作業となりました。また、道を塞ぐ倒木がいくつかありましたので、今回はチェーンソーも活躍しました。昼食は、木陰の方位観測所から変更し、日当たりの良い連隊長指令所跡で取りました。

参加された皆様、お疲れ様でした。多くの方がこの史跡を訪れることを願っております。



清掃後写真(末原)



集合写真(前田)

(文：森 弘 写真：末原 前田)

公募観察会③ (3/24)の下見

日 時：3 月 17 日(土) 9:30～15:30

天 候：晴れ

行事推進員：中道 舛田 山本(昌)

コース：大元公園～広大実験所～室浜海岸～
室浜高砲台跡 往復

参加者：小方(嗣) 小川 北野 小林(勗)

佐藤 中道 野呂田 前田 舛田 村上

森 山本(昌) 以上 12 名

予定のコースを歩き、道路状況、説明箇所等を確認した。行程進行、役割分担等を打合せ確認し、観察会当日の好天を祈って解散した。(文：前田)

公募観察会③

広大植物園路～室浜砲台跡観察会

日 時：平成30 年3 月24 日(土) 9:00～15:30

天 気：晴れ 行事推進員：小方(嗣)、北野、
小林(み)、山崎、山本(昌)

集合場所：大元公園無料休憩所

コ ー ス：大元公園→広島大学植物実験所→
室浜砲台跡→室浜の海岸→大元公園

参加者：麻生 猪谷 岩崎 小方ペア 小川

川崎 北野 黒木 小林ペア 佐渡 佐藤

末原 中道 野呂田 平田 前田 舛田 村上

森 山本(昌) 横路 呼坂 以上24名

環境省 関自然保護官 川原AR

公募参加者：22名

宮島自然植物実験所 坪田博美 准教授

本日の公募観察会は晴天に恵まれました。

9:30、公募参加者22名は大元公園無料休憩所に全員集合しました。

9:40から開会式。環境省関自然保護官と宮島地区PVの会村上会長の挨拶がありました。

続いて本日の自然観察のリーダー1 班北野会員、2 班小方会員、3 班山本会員の紹介があり、公募参加者は3 班に編成されました。

出発前に大切なストレッチ体操も。

9 時50 分出発。自然歩道を散策して、広島大学植物実験所を目指しました。

途中、黒松と赤松、サカキの見分け方、ミ

ミズに似ているミミズバイ、シャシヤンボ実の味見などなど植物について詳しい解説がありました。参加者の人も熱心に植物を手にとって質問をされていました。

ほぼ予定通り広島大学植物実験所到着。

12:20から広島大学植物実験所内の会議室で宮島自然植物実験所 坪田博美 准教授のプレゼンにて宮島の「地層と地質、動物相、植物相の特色、植物の矮小化、植生、森林、シカの餌付け、外来生物を防ぐなど」説明を受けました。

13:00浜で対岸を眺めながら各自昼食となりました。

13:30 室浜砲台跡へ向け出発。

13:40 着 中道会員が手作り砲弾や配置図を使いながら分かりやすく説明される。

14:15 大元公園に向けて出発、15:30 に大元公園に到着。参加者の皆さんにアンケートを記入してもらい解散となりました。終日晴天で、楽しい一日でした。



室浜砲台跡



サツマニシキの幼虫発見
(文・写真：麻生)



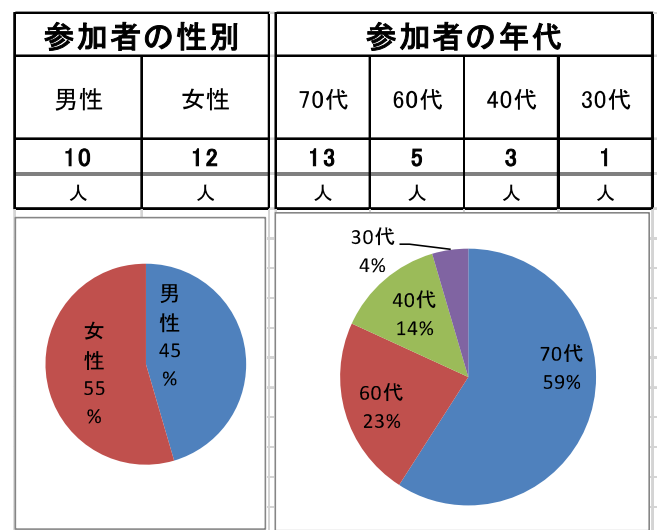
江之浦のヤマザクラ



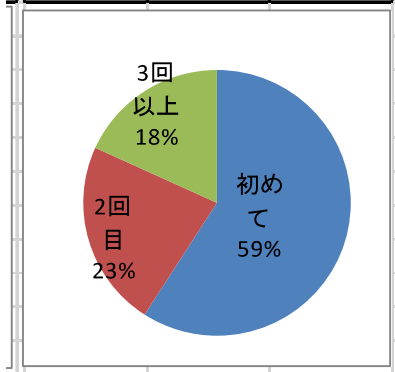
広島大学植物実験所

公募観察会アンケート結果

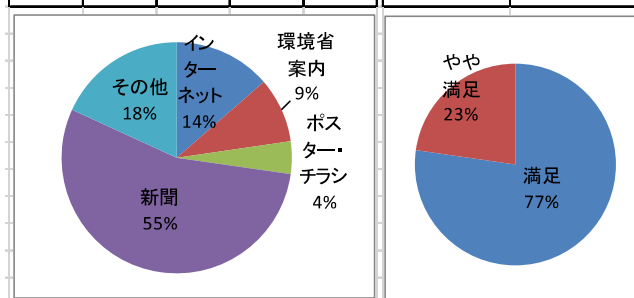
(参加者 22 名、回答者 22 名)



観察会参加回数		
初めて	2回目	3回以上
13	5	4
人	人	人



行事を知ったのは					行事の感想	
インターネット	環境省案内	ポスター・チラシ	新聞	その他	満足	やや満足
3	2	1	12	4	17	5
人	人	人	人	人	人	人



●参加したきっかけは

- ・自然観察に興味がある。
- ・宮島の自然に興味がある。
- ・植物観察に興味がある。
- ・久しぶりの植物観察がしたい。
- ・宮島の歴史に興味がある。
- ・宮島の砲台跡に興味がある。
- ・自然、植物、歴史等に興味あり、体を動かし野外の空気に触れたい。
- ・ゆっくり歩きながら植物観察をしたい。
- ・運動のために。
- ・ウォーキングに興味がある。
- ・自然全般について教えてもらいたくて。

●観察会内容

- ・大変詳しくて良かった。
- ・良かった、満足しました。
- ・木の花、実を沢山、感謝します。
- ・詳しく教えて頂き大変勉強になった。
- ・豊富な内容、素晴らしい説明、実り多い一日でした。

- ・木の名前、性質、興味深いお話でした。
- ・葉の見方等、分かり易い説明を受けた。
- ・来るたびに新しい事を聞けて良かった。
- ・丁寧な説明、分り易かった。
- ・歩きながらの観察が楽しかった。
- ・大変参考になった

●講師・テキスト

- ・知識が豊富、素晴らしいです。
- ・質問に真剣に回答、不明点は即調査された。
- ・沢山のスタッフに感謝です。
- ・分りやすく楽しい植物、歴史の話。
- ・講師の説明が大変良かった。

●その他

- ・声が大きくて良かった。
- ・益々興味がわき、感謝です。
- ・至福のひとつき(一日)を過ごせました。運営にあたられた方々に感謝の気持ちいっぱいです。

●ご意見、ご希望があれば記入してください

- ・丁寧な草木説明に感謝。
- ・広島大学の先生の講義で、自然保護の困難さと大切さ理解出来ました。
- ・各班の連携、時間統制をしっかりとすればもっと良かった。
- ・また参加したい。
- ・宮島の東側、裏側、頂上付近の観察会を希望します。
- ・親子向けのプログラムを実施してみても如何でしょうか。
- ・楽しかった、有難うございました。

.....

以上の他に、改善を要するご指摘も頂きました。有難うございました。

(まとめ 舛田 祐子)

ミヤジマトンボ新生息地創出整備作業(ミヤジマトンボ保護管理連絡協議会実施事業)

日 時 : 3月28日(土) 9:30~16:00

天 候 : 快晴

参加者 : 大林 小川 恩田 黒木 佐藤 末原
前田 松田 以上 8 名

環境省 関自然保護官 川原 AR

現在 4 箇所ある既存の生息地が自然災害などにより絶滅しないように、生息地から離れた湿地を新たな生息地として整備しました。

新たな生息地は、縦 7m、横 5m の規模で PV 会員 8 名とミヤジマトンボ保護管理連絡協議会員外計 22 名で整備し、掘削途中には山水がしみ出てきました。

今後、ミヤジマトンボの生息地として必要な海水の浸入、ヒトモトススキの植生などの環境が整うか調査し、条件が整えば来年イノシン柵を設置し、平成 31 年度に卵を放す予定です。



作業状況



完成状況

(文・写真：末原)

入浜池補足調査①

日 程 4 月 7 日 (土) 13 : 00 ~ 15 : 00

天 候 曇 行事推進員：小川 横路

参加者：大西、小川、奥田、小林ペア、中道、穂井田、舛田、横路、以上 9 名

◇【植物】小林(み) 会員

やぶ椿の花が今年ほどの木も沢山花を付けています。表年でしょうか？アセビやザイフリボクの白い花が緑の山によく映えて美しい風景を創っています。

その他の花はサルトリイバラ、シキミ、ニガイチゴ、ナガバナタチツボスミレ等。新芽ではシロダモのピロード状の葉、カキ、クマノミズキ、ノイバラの若緑、黒マツ、赤マツの芽など、春です

池の水が少なくヒトモトススキの枯れ株が目立ちます。今日はカエルの鳴き声が賑やかで、イワタイゲキの株も増えてきていました。

◇【野鳥】 大西会員

ミサゴが大きな魚を掴んで運んでいるのに気付く数人で見上げて追った。育雛中ではないだろうか。

その時、その魚を狙って飛んできたかのようなタカ（ハヤブサか？）が、ミサゴとニアミスをしたが、あっさり離れて行った。本来、餌の好みが違う 2 種、餌でトラブルを起こすわけがないのだった。

この狭い場所で冬鳥と夏鳥を確認できたが、いずれも渡りの途中ではないかと思われた。また、スズメは、巣材を電柱の横穴に運ぶ姿（巣作り）が確認できるなど、この時期らしさを、満喫できました。

種 名	数	種 名	数
マガモ	♂ 1、♀ 1	ヒヨドリ	4
カルガモ	2	ウグイス	5
カワウ	1	エナガ	2
セグロカモメ	3	メジロ（囀り）	1
ミサゴ	2	シロハラ	3
トビ	5	ツグミ	1
コゲラ	3	キビタキ（囀り）	1
ハヤブサ	1	スズメ	2
ハシブトガラス	2	キセキレイ	1
ヤマガラ	5	アオジ	2
シジュウカラ	4	ハヤブサ？	1
ツバメ	2	計	23 種



冬鳥 5、夏鳥 2、ほか 留鳥 16、



シジュウカラ 大西撮影



ヤマガラ 穂井田撮影



ミサゴ 魚を掴んで飛翔

◇【水質・植物】 小川会員

調査開始は午後 1 時、気温は 10.5℃。前日までの陽気が一転し、寒く感じました。水質調査の結果は表のとおりです。

項目	A 地点	B 地点	中央	C' 地点
水流	なし	なし	なし	あり
塩分 (%)	0	0	0	0
COD(ppm)	4	4	4	2

項目	D 地点	E 地点	F 地点	海水
水流	あり	なし	あり	—
塩分 (%)	0	0	0	3
COD(ppm)	4	6	7	—

水質調査と並行して生きものについて気付きを記録しました。大きなアメンボが水面を行き交い、池の中央で 15cm 位の魚が 1 匹飛び跳ね、シカがノイバラ新芽を採食し、イノ

シシの掘り起こしが相変わらず広範囲に認められました。



C' 地点: 地表にしみ出た伏流水がわずかな流れを作る。

F 地点 (出口) の手前は、次第に陸地化しており、この砂が一体どこから来るのか興味深いところです。

小なきり海岸の植物・生物調査と海岸清掃

日 時 : H30 年 4 月 7 日 13:00~14:00

天 候 曇 行事推進員 : 大林

参加者 : 麻生 猪谷 今田 岩崎 大林 恩田
小方ペア 金山 川上 川崎 北野 黒木 五石
河野 佐渡 嶋谷 末原 田中 田内 檜和田
二神 前田 三戸 村上 森 吉崎 呼坂
以上 28 名

・総会終了後の、小なきり海岸の植物・生物調査と海岸清掃を行いました。

海岸ゴミは、相変わらずカキ養殖用のパイプ及び発泡スチロールが多く、対策が望まれるところです。収集したゴミは 115kg でした。



(文・写真 末原)

多々良～青海苔清掃登山

日 時：平成30 年4月21日(土) 9:00～15:00

天候：晴れ 行事推進員：猪谷

参加者：猪谷 岩崎 大西 川上 北野 河野
佐藤 嶋谷 末原 前田 森 横路 以上 12 名

初めて登山でしんどいと感じた。まいった。あと 50m で岩船・三つ丸子・多々良・奥の院の変な十字路手前。急な登り坂。約 5 分“座り込み”ました。皆さまにはご迷惑かけました。その後は大砂利まで快調。タクシーで多々良まで。奥の院ルートをゆっくり登ってこの十字路。あとはすべて下りだけ。30 分ほどで静寂な高安ヶ原、本当にここで陶晴賢が厳島合戦に敗れ切腹したような雰囲気。碑を参拝し、ゆっくりと下り、途中宮島町民の水源地を経て約 1 時間で“中筒男命”を祀る青海苔浦神社。5 月 15 日の御島廻り（御鳥喰式）では全員上陸「茅の輪」をくぐり参拝する。

砂浜の上で昼食。ここからはアスファルトの道があるが、大砂利までは 1 時間強歩かなければならない。植物観察をしながらぶらぶら歩く。大砂利でタクシーグループと徒歩グループに分かれ終了。清掃登山、大きいごみ袋 1 つ持って頂いた人お疲れさんでした。

9 時栈橋出発：15 時大砂利着。12 名全員けがなし。

★ 雪の結晶のようなクロバイ満開。全山真っ白。素晴らしい 1 日でした。



(文：佐藤 、写真：岩崎)

◇【野鳥】 大西会員

登山中に渡来直後の夏鳥に出会えた。

キビタキ、オオルリの美しい囀り。

直ぐ近くの木の上から聞こえてきたセンダイムシクイの声。近い！必死で姿を探して、

北野さんに撮影していただくことができました。上を向いて元気いっぱい囀っている姿。縄張り主張でしょうか？

- ・ 顕著な眉斑・下嘴の山吹色・喉から胸の白さなど。ウグイスと似ていて、わずかに異なるセンダイムシクイの特徴を確認できて、大感激です。



センダイムシクイ（北野会員撮影）



陶晴賢碑（写真：前田）



青海苔海岸（写真：前田）

公募観察会 (5/12)の下見

(宮島の新緑と史跡ウオーク)

日 程 平成 30 年 5 月 5 日 (土)

天 候 晴れ

参加者 岩崎、大西、北野、佐藤、末原、村上、森、小林ペア 以上 9 名

5 月 12 日の観察会の下見を当日の解説をしていただく佐藤さんと末原さんと参加者の皆さんとで行いました。

危険な箇所などをチェックしながら、一般の観光客も多いので昼食は藤の棚公園としました。午後 2 時 30 分頃、大元公園に着き反省会を行って解散しました。(文：小林昴)

***** 投稿 *****

ニューリーダー育成研修会に参加して

投稿者 末原 義秋

昨年末の 12 月 27 日「宮島栈橋から包ヶ浦まで歩きながら、宮島の自然・歴史を学ぼう」をテーマにした、廿日市・佐伯警察署管内少年補導補助員連絡学生ニューリーダー育成研修会の案内人として参加しました。

管内の中学校の生徒会リーダー及び関係者約 50 名が参加し、宮島栈橋で宮島の概要・特徴を話した後、包ヶ浦まで歩きながら杉の浦や包ヶ浦から見た廿日市市と広島市の眺め、厳島合戦跡地の博奕尾や包ヶ浦の上陸地点の案内、包ヶ浦の弾薬庫・防空壕、鷹ノ巣浦の高・低砲台の施設等の説明をしました。

昼食時にバーベキューを楽しみながら意見交換会が行われ、普段見ることのない景色や場所が見学できて良かったとの意見が聞かれました。一方で生徒達に分かり易いように難しい言葉や専門用語を使わずに案内するのに苦労しました。

鳥の種名の並び方

投稿者 大西 順子

過日の「御手洗川探鳥会(野鳥観察・地御前)」で、質問のあった鳥合わせ表の種名の順序について、私なりに理解していることを、次の様にまとめてみました。

この度使用していた鳥合わせ表は、過去に御手洗川で観察された野鳥のうち 111 種を、日本鳥学会の「日本鳥類目録改訂第 7 版」に準じて記載していました。

日本鳥学会は、鳥類研究者で構成されるほぼ唯一の学会で、「日本鳥類目録改訂第 7 版」とは、2012 年 9 月に発表された最新の鳥類の分類目録です。

分類というのは、種の似た仲間を集めて「属」→「科」→「目」と、高次の分類群にまとめあげてあります。

それらを、進化的類縁関係をもとに並べてあります。即ち、最初の方に置かれているのは原始的な「目」で、後の方に来るほど進化した「目」です。キジ目が最初で、スズメ目が最後で、計 24 目に分かれています。スズメ目がいかに進化したグループかが推測できます。

鳥類の分類体系の研究が進み、理解が深まることにより分類が変化してきました。1922 年に初版が発表されて後、何度も改訂されて、最新版が、第 7 版に至っています。

かつては、筋肉や骨格系の詳細な比較を中心に議論がされて、類縁関係を推測し、分類体系が形成されていたようです。

しかし、20 世紀後半から 21 世紀にかけて DNA を読む技術が進み、第 7 版は、DNA の配列の比較研究の結果定められたもので、遺伝的証拠に基づいたものとなっています。そのため、以前の目録とは、大きな変化が起きました。大ベテランの方々は、以前の分類目録を詳細に記憶されているため、新しいものに戸惑うことが多いと、仰っていた時期もありました。ただ、今後の変化は少ないのではないかと期待されていると、書いてあるのを目にしました。そうであれば嬉しいです。

ところで、今後の探鳥会においても次の理由によりこの順番を引き続き使用して行きたいと思います。

・進化順に並んでおり、それぞれの種類の

近いものが理解しやすい。

- ・多くの図鑑でもこの順番に従っている。
- ・採鳥会の結果を記録に残す際、管理しやすい。

・野鳥の会でもこの順番を基本としている。
皆様にご理解をいただき、ご協力のほどよろしくお願い致します。

＊参考資料

- ・「B I R D E R」2013 年 2 月号
文一総合出版発行
- ・「鳥についての 300 の質問」アラン・D・クリュックシヤンク夫妻著、青柳 昌宏訳、昭和 57 年 講談社 発行



村上会長

(文 写真：岩崎)

***** お知らせ *****

「絵画で国立公園めぐり」 絵画展始まる

4 月 28 日はつかいち美術ギャラリーにおいて標記絵画展のオープニングセレモニーが催された。

宮島 PV の会もこの展示会に併せて会場出口側通路に 会の活動を紹介するパネルを展示している。

絵画展は全国の国立公園の作品 80 点が展示してあり充実している。6 月 10 日まで開催されているので、総会時に配布の招待券を利用して是非足を運んでみてください。

(絵画展の図録冊子は 詰所に保管しますので随時閲覧できるようします)



自然保護官の異動(4 月定期異動)

着任：山崎自然保護官

再任：大高下アクティブレンジャー

転任：関自然保護官

(奈良県 吉野自然保護官事務所へ)

離任：川原アクティブレンジャー

(山口県へ)

◇ 編 集 後 記 ◇

前田編集長の後任として 4 月から、みせん 72 号の編集を引き継ぎました。なんとか、予定通り発行することができて一安心です。

仕事しながらなので、73 号以降も皆さんの協力を頂き、編集時間を確保しながら効率よく、編集を進めたいと思っています。(麻生)

瀬戸内海国立公園 宮島地区パークボランティアの会

事務局：環境省 中国四国地方
環境事務所 広島事務所
(〒730-0012)

広島市中区上八丁堀 6 番 30 号

広島合同庁舎 3 号館 1 階

TEL082-223-7450、FAX082-211-0455